



越前町
ECHIZEN

2006. 5. 1
vol. 4

議会だより



図書館統合システム稼働

おもな内容

- ☆ 三月定例会報告…………… 2
- ☆ 委員会報告…………… 4
- ☆ 一般質問…………… 5
- ☆ 各常任委員会現場視察…12



発行・越前町議会 編集・議会広報委員会
〒916-0192 福井県丹生郡越前町西田中13-5-1
TEL (0776) 34-1234(代)

平成十八年 第二回臨時会

招集 二月十三日

会期 一日間

○平成十七年度越前町一般会計補正予算(第八号)補正額 一億五千万円
町内の公共交通手段の一つとして運行が予定されているコミュニティバスの円滑な運行、事業運営のために、
中型低床路線バス

…二台
小型低床路線バス
…四台

中型バス(スクール)

…三台

ワゴンタイプ普通車

…二台

の車両の購入費を補正するものです。慎重審議の上、原案通り可決されました。

平成十八年 第三回臨時会

招集 二月二十四日

会期 一日間

○コミュニティバス購入事業物品売買契約について……………七件
第二回臨時会において購入費用の補正が可決された、コミュニティバスの購入に伴う物品売買契約を締結するもので、原案通り可決されました。

三千百八十万円
(清水・森・杖立地区)

○国際交流一般事業

千七百四十四万九千円

○固定資産鑑定事業

二千七百万円

○航空写真撮影委託料

○消防防災施設設備整備事業

四億三千六万九千円

(鯖江・丹生消防組合分担金)

五千七十万円

(織田・宮崎消防分署(仮称)用地購入費)

○民生関係

○重度心身障害者医療費助成事業

八千五百七十七万四千円

(心身障害者(児)に医療費の一部を助成)

○身体障害者施設訓練支援事業

五千四百五十八万八千円

(施設入所にかかる費用の一部を負担)

○社会福祉協議会出捐金

六千万円

(「地域福祉基金」を越前町社協へ出捐する)

○養護老人ホーム入所措置事業

六千七百六十一万六千円

○若者出会い交流応援事業

百万円

○児童手当支給事業

一億二千七百七十九万六千円

(月額一人五千円、第三子以降一万円)

○乳幼児医療費無料化対策事業

三千六百六十四万三千円

(小学校就学前までの乳幼児)

○農林水産関係

○中山間地域総合整備事業

○病後児保育事業

三百九十万円

(四月から織田保育所内で実施)

○鯖江広域衛生施設組合負担事業

一億六千九百九十四万七千円

(葬斎・塵芥処理)

○ごみ分別収集委託料

九千七百七十二万六千円

○丹生衛生管理組合負担金

三千三百十三万三千円

○農林水産関係

○中山間地域総合整備事業

○病後児保育事業

三百九十万円

(四月から織田保育所内で実施)

○鯖江広域衛生施設組合負担事業

一億六千九百九十四万七千円

(葬斎・塵芥処理)

○ごみ分別収集委託料

九千七百七十二万六千円

○丹生衛生管理組合負担金

三千三百十三万三千円

三月定例会報告

招集 三月十日
会期 十五日間

(十日～二十四日)

※当初予算

一般会計

百三十六億千三百十万円

主なものを抜粋

◎総務関係

○総合型地理情報システム構築事業

二百九十万円

○地域公共交通活性化事業

○総務関係

○総合型地理情報システム構築事業

二百九十万円

○地域公共交通活性化事業

○総務関係

○町民まちづくり活動支援事業

百十三万四千円

(町民の参画と協働によるまちづくり活動支援)

○移動通信用鉄塔施設整備事業

一億七千二十万五千円

(各種コミュニティバスの運行委託、路線バス補助)

○民生関係

○重度心身障害者医療費助成事業

八千五百七十七万四千円

(心身障害者(児)に医療費の一部を助成)

○身体障害者施設訓練支援事業

五千四百五十八万八千円

(施設入所にかかる費用の一部を負担)

○社会福祉協議会出捐金

六千万円

(「地域福祉基金」を越前町社協へ出捐する)

○民生関係

○重度心身障害者医療費助成事業

八千五百七十七万四千円

(心身障害者(児)に医療費の一部を助成)

○身体障害者施設訓練支援事業

五千四百五十八万八千円

(施設入所にかかる費用の一部を負担)

○社会福祉協議会出捐金

六千万円

(「地域福祉基金」を越前町社協へ出捐する)

○民生関係

○重度心身障害者医療費助成事業

八千五百七十七万四千円

(心身障害者(児)に医療費の一部を助成)



購入予定と同型の小型低床路面バス



購入予定と同型の中型バス(スクール)

- 業
- 米ノ公有地緑地広場整備事業
二千五百二十四万二千円
(防災無線受信機の更新(越前地区))
 - 被害米除去対策事業
二千二百九万三千円
(越前丹生農協が導入する色彩選別機の一部を助成)
 - やる気のある園芸産地づくり支援事業
四百六十万六千円
 - 越前食育推進事業
百三十四万四千円
(「育てる」つくる「食べる」の体験と食育活動の推進)
 - 有害鳥獣対策事業
千四百三十万三千円
 - 宅地造成事業
一億三千二百六十万五千円
(赤井谷地区)
 - 漁場環境保全創造事業
三千一万二千円
(アマエビ・アカガレイ漁場の海底耕耘事業)
 - ヤリイカ増殖場造成事業
五千四百万円
(ヤリイカ産卵用漁礁設置)
 - 米ノ公有地緑地広場整備事業
三千二百七十万三千円
(公園や運動場及び駐車場を整備)
 - 越前漁港環境整備事業
千百万円
(道口地区公有地埋立地に公園、駐車場の整備、町営住宅用地の整備)
 - 商工関係
○商工業振興対策事業(産業フェア)
九百万円
 - イベント開催補助事業
六十六万円
(各地区まつり開催補助)
 - 土木関係
○特定交通安全施設等整備事業
一億九百三十五万三千円
(町道乙坂気比庄線)
 - 町単独道路改良事業
一億三千五百六十六万六千円
(局部的な改良・拡幅など計二十三路線)
 - 福井の伝統的民家普及



人工芝ホッケー場予定地



米ノ公有地 緑地広場

- 促進事業
- 千五百万円
(福井県独自の補助制度)
 - 教育関係
○青雲特待生奨学金事業
百九十二万円
(町の教育水準の向上、丹生高校の育成)
 - 朝日地区中学校建設事業
六億三千八百八十二万九千円
(建設予定地の購入費など)
 - 町民音楽祭補助金事業
二百五十万円
 - (町内の音楽団体によるコンサート、マリンバコンサートの実施)
 - 体育施設一般事業
六億二千八百三十万円
(人工芝ホッケー場二面等)

特別会計

- 百五億三千八百四十四万七千円
- ※簡易水道事業
○朝日地区簡易水道統合整備事業
二億六千七百七十二万円
(平成十六年度から平成二十二年度の継続事業で、旧糸生地区の簡水施設と上水道統合)
- 城崎地区漁業集落環境整備事業
一億五千八百八十一万一千円
(城崎地区の水産飲雑用水の供給整備)
- ※集落排水事業
○米ノ地区漁業集落環境整備事業
五億百七十万七千円
(管路施設・処理場施設の整備)
- 織田地区統合簡易水道事業
二億五百五十万円
- ※公共下水道事業
○朝日地区機能高度化下水道事業
七千二百万円
(朝日浄化センター)

事業会計

- 十六億九千七百六万三千円
- ※国民健康保険病院事業
- 増改築建設事業
四千七百五十万円
(作業療法室・病児保育室の新設等)
- 医療機器整備事業
三千百万円
(CTスキャンの管球の取替、手術台・麻酔器の購入など)

委員会報告

◎総務常任委員会

総務常任委員会は三月十六日（十七日）（両日とも午後一時開会）開かれ、付託された議案について慎重に審査が行われました。審査の過程で各委員より論及のあった主な点は次のとおりです。

答 どのように利用されるかは、人口だけでは判断できず、町の一体感を醸成するための手段でもあり、必要な政策だと思ふ。将来にわたっての財源を確保しながら進めたい。

問 町税の収納率向上や入湯税の適正な収納に努めてもらいたい。

答 税の公平、公正の観点から更なる町税の収納率向上に努めたい。

問 コミュニティバスの運行について、路線バスとの連携や、バス停の位置はどうなっているか。

答 町民の利便性を考え、種々の問題点を整理しながら運行にこぎつけた。

問 当町の人口規模からみて、コミュニティバスの運営費が多額である。将来にわたって運営を持続させることは可能か。

※ 平成十八年度越前町一般会計予算のうち
第二条 地方債
第三条 一時借入金
第四条 歳出予算の流用
歳入 全款
歳出 一款 議会費

二款 総務費
（三項 戸籍住民基本台帳費を除く）
九款 消防費
十一款 公債費
十二款 諸支出金
十三款 予備費

以上、審査の結果、全議案とも原案通り可決されました。

◎文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は三月二十日開かれ、付託された議案について慎重に審査が行われました。審査の過程で各委員より活発な意見がありました。主な点は次のとおりです。

問 給食センターの統合についての考えを伺いたい。

答 今後、統合を視野に検討していきたい。

一箇所にするか二箇所にするか併せて検討したい。

問 丹生高校の育成事業で、特待生奨学金制度の内容や運営についてお聞きしたい。

答 勉学に意欲のある生徒や一芸に秀でた生徒など二十人を予定しており、運営には十分留意して実施し、丹生高校の育成に寄与したい。

その他、委員会に付託された議案は、次のとおりです。

※ 条例 六件
※ その他 二件
※ 平成十八年度越前町一般会計予算のうち
歳出 二款 総務費
（三項 戸籍住民基本台帳費）
三款 民生費
四款 衛生費
十款 教育費

※ 平成十八年度特別会計予算 四件
※ 平成十八年度

事業会計予算 一件
以上、審査の結果、全議案とも原案通り可決されました。

◎産業土木常任委員会

産業土木常任委員会は三月二十二日に開かれ、付託された議案について慎重に審査が行われました。審査の過程で各委員より建設的な意見がありました。その主な点は次のとおりです。

問 赤井谷地係（織田地区）での宅地造成事業で、一区画平均が百四十四坪の計画面積となっているのはなぜか。また、購入者のニーズに應えることはできるのか。

答 「ゆとり」と「くつろぎ」を確保し、団塊世代、次男、三男を対象とし、二世帯住宅や家庭菜園も視野に入れた計画面積であり、現時点では計画に沿って分譲

したいが、今後要望があれば検討したい。

問 米ノ公有地緑地広場整備事業の目的を伺いたい。

答 学校の統合により地区に広場がなくなつたので、地域で多目的に利用できる広場を整備するものです。

その他、委員会に付託された議案は、次のとおりです。

※ 平成十八年度越前町一般会計予算のうち
歳出 五款 労働費
六款 農林水産業費
七款 商工費
八款 土木費
※ 平成十八年度特別会計予算 五件
※ 平成十八年度事業会計予算 二件
※ その他 二件

以上、審査の結果、全議案とも原案通り可決されました。

3月定例会

一般質問



国道 365 号線 高架部分

問 国道三六五号線バイパスが今年八月に完成と聞くが、高い橋の部分では、冬の凍結が心配される。融雪対策を伺いたい。



吉村 春男

答 町長 国道三六五号線、通称梅浦バイパスは県の管理下に置かれています。この道路は越前地区の住民にとって生活道路また産業観光の道路として非常に大事な道路です。冬場の消雪（除雪）対策として三通りあります。一つは水を使って消雪する方法。二つに機械

国道三六五号バイパスの
融雪対策は！

問 冬期間における町内の道路の安全

今、新しい凍結防止の舗装が開発され、ゴムチップとアスファルトを混ぜた「凍結抑制舗装」があり、酢酸系の凍結防止剤を併用することが最も有効との回答を受けています。議会と相談しながら、国・県へ強力に要望していきます。



梅浦側より高架を望む

答 町長 国道、県道のみならず、町全体の道路の除雪・融雪に適切に対応し、今後とも道路問題は、幅員や線形・勾配も含めて、安全・安心な町づくりに対応する道路施策を実施してまいりたいと思います。

あなたも議会を傍聴してみませんか！

議会の傍聴は町政を知るよい機会です。お気軽にどうぞ。

「漁民の森」に代表される 森林育成事業の推進を！



安井 賢二

問

「漁民の森」は、豊かな海を守るためにその栄養のほとんどの森を健全に育成し、造成することを目的に行われる事業である。既に越前地区では、平成十四年から

答

町長

森林には、木材産生の働き、水源涵養、国土保全、自然保全も含めた環境保全、地球温暖

この漁民の森事業を行っている。越前地区だけでなくほかの三地区でも、ぜひとも落葉樹、ドングリの植林を行うよう求めたい。町の考えをお聞きたい。



漁民の森

化を防止する働きなど、多面的な機能を持っています。豊かな海を守ることは非常に大事であるので、町有林を中心に、落葉樹の植樹を積極的に進めたいと思います。森林組合をはじめとした専門家の皆さんとも相談しながら、ぜひ取り組んでいきたいと思っています。特に平成二十二年の全国植樹祭をぜひ当町へ誘致するように努力し、町民の皆さんに、森林の機能を再確認して



大谷寺遺跡 円山塚状遺構

いただきたいと思います。

問

泰澄の遺跡顕彰で、大谷寺の越知山における泰澄の存在と山林寺院の宗教施設があったことを一日も早く証明し、観光を含めた町の活性化や、発掘を含めた取り組みについて町の考え方を伺いたい。

答

町長

泰澄大師と越知山信仰の調査研究は、旧朝日町の時代から行わ

れ、第二十回の国民文化祭において、その成果が発表されました。越知山あるいは白山を中心とした丹生山地全体を、特に海の方も含めて、悉皆調査をし、観光を始めとした活性化に結びつけるよう努力したいと思います。

問

当町は、今回の合併で、県内で一

答

町長

今後、教育、保健・医療・福祉を充実させ、さらに品格のある、文化の薫り高い町として、県内で一番大きい町であることを自覚しながら町政を進めてまいりたいと思います。



大谷寺

高齢障害者へ潤いの ある福祉施策を！



田 中 太 平

問

肺炎で死亡する
九十%以上が六十
五歳以上の高齢者である。
肺炎球菌ワクチン
の接種で七割程度予防
でき、一回の接種で五年
間効果がある。肺炎の
治療には、一人当たり
二十五万円程度かかる
が、ワクチン接種の補助
をしている自治体では、
医療費の削減に結びつ
いたとの報告がある。当
町でも七十五歳以上の
人にワクチン接種の補
助をす
る考えはないか。

答

町長

全国的には、公
費負担でワクチンを導入

しているのは二十七日町
村で、県内ではまだ導入
されていません。しかし、
高齢者が健康で長生きす
ること、医療費の削減に
有効であるなど意義のあ
ることと思いますので、
前向きに対処するよう努
力したいと思います。

問

重度心身障害者
(児)の家庭に対
する当町の支援策につ
いて伺いたい。

答

町長

家族に対して
は、居宅生活支援事業
(ホームヘルプサービス、
ショートステイ、デイ
サービス)で対応し、障
害児には、町内の公私立
保育所において、障害児
保育を行っています。ま
た、共同作業所や授産所



ふれあいサロン (小倉)

問

聴覚障害者の支
援について、役場、
織田病院に手話通訳者や
要約筆記者を常駐させる
考えはないか。

答

町長

へ通う交通費の一部助成
や、「福祉タクシー」の利
用に対する助成、住宅の
改造費の一部助成につ
いて取り組んでいます。平
成十八年度からは、公共
交通機関の利用が困難な
人に移送サービス事業を
実施したいと思っています。

問

障害者の雇用
は、公共団体では、
二・一%の法定雇用率が
定められている。町の実

答

町長

負担を穏やかに
するために、障害者の所
得区分に応じて月額の上
限が定められています。
特に低所得者に対して
は、減免制度があります
ので、町独自の支援につ
いては、他市町の動向も
見極め慎重に対応したい
と思います。



織田病院

問

障害者自立支援
法による一割負担
に対する当町の助成措置
についてお聞かせ願いた
い。

答

町長

当町では、町長
部局が一・二一%、教育
委員会部局一・四七%と
なっております。今後、
障害者の雇用計画につ
いて、職場の環境整備を
はじめ、検討したいと思
います。

態はどうか。達してい
ない場合の今後の方針につ
いて伺いたい。

新年度予算の

基本方針は！



堀 弘 忠

問 自主財源の伸び 悩み、また三位一

体の改革が進む厳しい中での新規事業、継続事業について、新年度予算編成に当たつての基本方針とそれに伴う今後の政策について伺いたい。

答 町長

当町は、合併前に行った事業の公債の残高が非常に多く、起債制限比率が県内平均八・九%を上回り十三%となっています。そのため新年度予算でも投資的経費は十九・三%で、このように投資的経費が二十%を下回るような財政内容は

今後数年続くのではないかと考えられます。

新町には、建設計画に沿った事業展開は非常に大切ですが、施策の優先順位を厳しく選択すること、予算の配分を重点化し、効率的かつ合理的な行財政の運用が必要との思いで予算編成に当たりました。

住民同士・地域間の連携と交流のための、道路網や公共交通機関整備をはじめ、防災、上下水道、情報通信基盤のようないんフラ整備、教育充実、若者定住促進、子育て支援、農林水産業や商工観光業振興、国際交流推進、男女共同参画推進、保健・医療・福祉充実、投資改革の社会基盤維持管理、強化、これらは非常に大事だと思います。中でも特に六月頃から導入予定



織田病院 診察風景

問

マスタープランに基く、織田病院の機能・施設の拡充・改善

の必要があると考えるが、町長の所見を伺いたい。

答

町長

のコミュニティバスは一つの具体的な成果であり、是非ともご理解をお願いしたいと思います。

県保健医療計画の中の丹南二次医療圏では、基準病床が超過のため増床は原則的に認可されません。しかし新町における織田病院の機能・規模・あり方を分析・評価するためにマスタープランの策定を自治体病院

問 越前町型農業ビジョンの進捗状況を伺いたい。

答 町長

施設センターに委託しました。その内容は、一点目として、現在五十五床あるのを九十七床にするものです。私としては混在している病棟を急性、外科系と急性期の内科系、亜急性の内科系と分け効率的な看護体制にしたいと考えています。

二点目に、泌尿器科や耳鼻咽喉科を増設し、十五診療科目を作る提案がありました。

三点目には、人工透析室増設、理学療法・作業療法室、言語聴覚療法室等増設、健診室新設があります。特に訪問看護ステーションを作り在宅療法充実や地域包括医療推進を図ることも書かれています。ぜひともマスタープランに沿った機能拡充を図りたく、県に要望したいと思っています。十八年度には、病児保育の部屋、作業療法、言語聴覚療法室を新設する予定です。

※起債制限比率

過去三年度間の平均が二十%になると、新たな地方債の許可が制限される。

地域間の交流・融和の 方策として職員の異動を



村上 義人

問

町長の選挙公約である、地域間の連携と交流、融和のための方策として、また合併の町民への浸透と職員

答

町長

交流と連携を図り、深めるには、ソフト面とハード面とを考えるべきだと思います。ここ一年間のいろいろなイベ

の意識改革を進めるために、全町的な職員の異動を行うべきと考えるが、町長の所見を伺いたい。



宮崎総合事務所



織田総合事務所

ントで住民同士の交流が行われ、その結果、各地区の祭は、相当お客さんが増えました。このことから、この一年間の実績は決して悪くなかったと思います。

はハード面としてこれを支える一つの事業とらえていただきたい。その上で、一体感には数年が必要だと考えております。

答 町長
合併した割には交付金が増えていまして、ですから、建設計画に沿った事業を行うに

乱する場面がありました。ようやく落ち着いた今の状況で大幅な異動は控えたいと思います。しかし職員同士がそれぞれの地域での文化、特性、慣習を学ぶことは非常に大事です。職員の特性・適正、組織のあり方をよく考え、来年あたりは異動を考えたいと思います。

問

合併協議会で、旧町村から提出された投資的経費計画一覧表の、年度別区分建設計画の十八年度からの三箇年の実施計画のうち、十八年度分について計画事業額がどれほど充当されているか、また、計上されていないものについては、その理由を伺いたい。

答

町長

は、資金をどう確保するかが問題となります。例えば受益者負担額を増やすのは、政治的にも非常に大きな問題になりますし、国や県の補助金確保も非常に困難です。しかし、合併に伴う補助金や交付金、合併特例債を活用し、事業を展開するのは大事と考えます。

当初予算も、最初は財政調整基金を取り崩さなといけないのでは、という懸念があったくらい財政状況は悪く硬直化が進んでいるので、投資的経費を抑えざるを得ません。

それは、合併前の事業の償還金（公債費）が、十七年度がピークであることと、一般会計からの特別会計や企業会計への繰出金が非常に多いことが、財政の自由度を非常に狭めているので、予算配分の重点化、施策の優先順位を選択しなければならぬと考えます。

原子力発電に対する

町の見解は！



久保 昌 義

問

電気は、生活に欠かせず、頼らねばならないエネルギー源と考える。「もんじゅ」の運転も近づき、さらに、敦賀に日本原電の原子力発電三号・四号機が増設されるが、隣々接地としての対処を伺いたい。

答

町長

平成五年に、福井県原子力発電所準立地市町村連絡協議会では、増設に反対した経緯があります。また、越前地区の漁業者も反対していますが、国の原子力政策、県や地元の敦賀市が、周辺市町の理解を得ながら、今日まで進めたので、安全第一を念頭において、是々非々の立場で臨む必要があると思います。一方では財政が厳しいの



敦賀発電所2号機

問

越前地区は、原子力発電所立地地域の隣々接地となつて

いたが、新町になるとどう変わるのか伺いたい。

答

町長

新町全体が原子力発電所立地地域の隣々接地ということになります。

問

隣々接地への支援はどのくらいか伺いたい。

答

町長

日本原電敦賀発電所の三号・四号の増設で、おおよそ周辺市町全体として百三十五億円の支援と聞いています。また市町にどのくらいの配分がされるかは未定です。支援策については従来の

で、電源地域振興対策資金交付金や、その他の補助金があるのは非常にありがたいとも思っています。

電源三法交付金は名称変更となり、電源立地対策交付金、電源地域振興補助金、核燃料補助金となりました。前者の二つは、原子力発電所が稼働している期間は毎年一億円前後と聞いています。

問

放射能漏れの対応として、人体に

放射能の蓄積を防ぐヨウ素などの備蓄があると聞くが、どのくらいの量で更新は何年か、また経費はどのくらい必要か伺いたい。

答

町長

現在、四万八千錠保有しています。放射ヨウ素による被爆で甲状腺がんの防止に使用され、対象は四十歳未満で、一日一回二錠、三日間服用、一錠八円で、経費は五十三万円で、有効期間は二カ年です。ヨウ素剤の備蓄問題については越前町防災計画策定の中で、対処したいと考え

問

学校での安全、登下校の安全対策の点検や組織はどうな

っているのかお聞きしたい。

答

教育長

児童・生徒の安全安心を確保することは、国全体の問題となっています。県も国の施策を受けて、子供安心三万人作戦によるパトロールを実施し、登下校の安全、安心を図るように指示しています。町としてハード面では、スクールバスを運行、非常通報設備・施錠を含めてインターホンを各学校に設置する、「さすまた」や催涙ガスなどを配備する、小学校低学年には、防犯ブザーやカウベルを持たせる、などの対応をしています。また、ソフト面では、見守り隊を編成し、教職員・PTA・議員・補導員・各種団体の協力を得て実施しています。そして、

ています。

問

朝日中学校建設検討委員会から答

申書が提出された。今後重要な問題について諮問し、答申されると思うが、修正や見直しはあるか、また用地の確保など事業の進捗状況は予定通りか伺いたい。

答

町長

原則として答申案に沿った形で事業を進めていきたいと考えています。また、事業は予定通り進捗しています。

一部事務組合議会報告

◎丹生衛生

管理組合議会

報告者 久保 昌義

一月十八日

於 越前町議会議場

報告第一号〜八号

(組合が加入する福井県市町村職員退職手当組合、非常勤公務災害補償組合の規約を合併による市町村名等の整理を行うもの。)

議案第一号 平成十六年度丹生衛生管理組合一般会計歳入歳出決算認定

について(歳入合計五百七十五万三千九百二十五円、歳出合計五千九百七十七万四千四十一円、歳入歳出差引 三百七十七万六千八百八十四円)

議案第二号 平成十七年度丹生衛生管理組合一般会計補正予算(第一号)

について(千六百五十万円を追加し、歳入歳出それぞれ六千六百二十万円とするもの)

議案第三号 平成十八年度丹生衛生管理組合

一般会計予算について(歳入歳出それぞれ五千七百七十四万円とするもの)

以上、すべて原案のとおり可決しました。

◎鯖江・丹生

消防組合議会

報告者 鈴木 文夫

二月二十三日

於 鯖江市議会議場

議案第一号 平成十八年度鯖江・丹生消防組合一般会計予算について(歳入歳出それぞれ十二億八千七百六十万円とするもの)

議案第二号 平成十七年度鯖江・丹生消防組合一般会計補正予算(第二号)について(四百二十万円を追加し、歳入歳出それぞれ十二億三千三百九十九万円とするもの)

議案第三号 鯖江・丹生消防組合個人情報保護条例の一部改正について

議案第四号 専決処分の

承認を求めることについて(鯖江・丹生消防組合職員の給与に関する条例の一部改正)

議案第五号〜議案第九号

専決処分の承認を求めることについて(組合が加入する福井県市町村消防団員等公務災害補償組合、非常勤公務災害補償組合の規約を合併による市町村名等の整理を行うもの)

以上、すべて原案のとおり可決しました。

◎鯖江広域

衛生施設組合議会

報告者 金矢 勲

二月二十七日

於 鯖江市議会議場

議案第一号 平成十八年度鯖江広域衛生施設組合一般会計予算について(歳入歳出それぞれ十三億九千九百六十万円とするもの)

議案第二号 鯖江広域衛生施設組合が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境調査結果の縦覧等の手続きに関する条例等の一部改正について

議案第三号 鯖江広域衛生施設組合が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境調査結果の縦覧等の手続きに関する条例等の一部改正について

(当組合を構成する市町の合併による市町村名等の整理を行うもの)

議案第三号 福井県市町村職員非常勤公務災害補償組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更について(合併による市町村名等の整理を行うもの)

議案第四号 鯖江広域衛生施設組合監査委員の選任について(越前市議の上田伸治氏を選出)

議案案第一号 鯖江広域衛生施設組合委員会条例改正案(合併による委員会構成員の数の変更)

以上、すべて原案のとおり可決しました。

◎福井県丹南

広域組合議会

報告者 安井 賢二

二月二十二日

於 鯖江市議会議場

議案第一号 平成十八年度福井県丹南広域組合一般会計予算について(歳入歳出それぞれ四億六千四百七十四万円とするもの)

議案第二号 平成十八年度

度ふるさと市町村圏振興事業特別会計予算(歳入歳出それぞれ千三十万八千円とするもの)

議案第三号 福井県丹南広域組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について

議案第四号 福井県丹南広域組合長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について

議案第五号〜議案第六号 専決処分の承認を求めることについて(条例、規約の合併による市町村名等の整理を行うもの。)

議案第七号〜議案第八号 福井県丹南広域組合監査委員の選任につき同意を求めることについて(越前町の代表監査委員永当治男氏と越前町議の時田修一郎氏を選出)

以上、すべて原案のとおり可決しました。

その他、副議長に池田町議の内藤博雄氏が選出されました。

◎公立丹南病院

組合議会

報告者 橋本 剛一

二月十七日

於 鯖江市議会議場

議案第一号 平成十八年度公立丹南病院事業会計予算(第一号)(収入合計三十六億四千八百九十九千円、支出三十六億七千六百七十六万七千円とするもの)

議案第二号 平成十七年度公立丹南病院事業会計補正予算(第二号)

(一億八千二百六十六万六千円増の収入合計三十七億二百二十五万六千円、一億八千二百三十三万四千円増の支出三十七億四千五百五十六万六千円とするもの)

議案第三号 専決処分の承認を求めることについて(組合が加入する福井県市町村非常勤職員公務災害補償等組合の規約を合併による市町村名等の整理を行うもの)

議案第四号 公立丹南病院組合監査委員の選任について(池田町議の内藤博雄氏を選出)

以上、すべて原案のとおり可決しました。

各常任委員会 現場視察



全員協議会で AED（自動体外式除細動器）実演



旧織田庁舎



織田消防分遣所

総務常任委員会



農道環境整備事業（気比庄）



簡易水道統合整備事業（牛越）

産業土木常任委員会



人工芝ホッケー場予定地



朝日給食センター

文教厚生常任委員会

編集後記

近年になく長く厳しかった今年の冬もようやく終わりを告げ、風薫るさわやかな季節となりました。町民の皆様は、いかがお過ごしでしょうか。

合併二年目の今年、コミュニティバスが六月の運行を前に準備が進められています。これにより町民の皆様同士・地域間のさらなる連携と交流に大いに役立てていただきたいと思っています。

よりよい町づくりのため私たち議会議員は今後も懸命に取り組んでまいります。

広報委員会では、皆様のご意見ご投稿をお待ちしています。（齊藤）

議会広報委員会

◎ 藤井 文夫

○ 田中 太平

安井 賢二

齊藤 洋一

上坂 昭夫

木村 繁

島田 欽一

佐々木 敬三